栃木県立佐野東高等学校
第10号 2026/3/17

キャリアプロジェクト

啓だより 2025

知を啓き 心を啓き 新しい伝統の扉を啓く

「キャリアプロジェクト啓」とは？

佐野東高校では、「キャリアプロジェクト啓」と称する探究型キャリア教育に取り組んでいます。生徒一人ひとりが自身の適性や興味関心に応じて、課題を設定し研究を重ねることで、キャリアを形成してくために必要な意欲・態度や能力の育成を目指しています。大学や企業等との連携や協働により、自ら設定した課題をより深めるとともに、社会の一員としての自覚を持ち、自己実現を図ることをねらいとしています。進路指導部からの働きかけのほかに「総合的な探究の時間」での探究活動（“Kei プロジェクト”）をとおして、生徒は３年間自分自身の進路に向き合います。

JICA 栃木デスク 国際協力推進員による探究テーマ指導（10 月 17日）

◆2学年「国際ゼミ」生徒11名を対象にJICA 栃木デスク田島繁樹氏から御指導をいただきました。田島様には予め各生徒の探究内容について御覧いただき、当日は一人ひとりに専門的見地からの御助言をいただきました。生徒も意欲的に対話をして考えを深めていました。

OB・OG による1学年「じぶん探究」講話（10 月17日）

◆大学4年生の OB・OG の有志が来校し、1年生に向けて講話をしてくださいました。就職内定が決まった学生から大学生活の様子や高校時代に取り組んでいたことなどリアルな話を聴くことができました。後輩のために協力しようとする母校愛あふれる姿勢がありがたかったです。

栃木県経済同友会「教育」合同委員会来校

◆「とちぎを担う人材の育成」という観点から本校探究活動の視察に来てくださいました。このことは本校のｽｸｰﾙﾐｯｼｮﾝとも深く関連することであり、探究活動への企業のサポートの必要性と生徒の地元産業への理解を促す機会となることであるとの共通認識を深めました。

インドネシア留学生交流プログラム（10 月 29,30 日）

◆インドネシアの Nurul Fikri 高校より、生徒68名が来校し、本校生がバディとして交流を深めました。本事業は佐野市地域おこし協力隊の砂子間仁実様や NPO 団体ちょこっと代表の熊倉百合子様の御協力により実現しました。オープニングセレモニーでは民族舞踊を披露していただき、そのお返しとして箏曲部が演奏を行い、日本の伝統文化にふれていただきました。 2日目は日本文化体験プログラムを実施し、茶道と書道体験を行いました。茶道部がお茶を点て、書道部が筆の使い方をレクチャーし、バディが漢字の意味を説明するなど生徒が積極的に活動していました。完成した色紙はお土産として訪問の記念となりました。本校生にとっても自分の英語力を試すとともに異文化を肌で感じるよい機会となりました。

インターンシップ学校・地域連絡会議 於：佐野松桜高校（12 月 19 日）

◆3年生の保育基礎選択者5名が呑竜幼稚園と佐野日本大学短期大学での実習を報告し、2年生2名が9月に行われた「Kei プロ Day」の報告と個人探究の内容発表を行いました。本会議には佐野商工会議所の方や市内の企業の方々も参加しており、本校の探究活動を知っていただく大変良い機会となりました。

探究フォーラム「総合的な探究の時間」発表会参加（12 月19日）

◆栃木県総合文化センターにおいて、栃木県教育委員会主催の探究フォーラムが開催されました。2 年生の西田隆真君が佐野市を襲った豪雨災害をきっかけに、防災意識の高揚をテーマにした発表を行いました。県内各校の代表者がポスターセッションを通して互いの探究の成果を発表し合う大変有意義な会となりました。

「Kei プロジェクト発表会：ゼミ探究」

◆1月30日（金）に2学年の「Keiプロジェクト学年発表会」を行いました。生徒は6つのゼミに分かれて年間を通じて個人探究をしてきました。冬休み明けにはクラス内で全員が発表し、その中からクラス代表が選出され、50 名がそれぞれの探究テーマについてのポスターセッションをしました。発表内容は、日常生活や学習・部活動から生まれた課題を科学的に検証したものや自分の進路に関する分野を深掘りしたものなど多彩なものばかりでした。各自が一つのテーマを突き詰めるという楽しさはもちろん大変さも感じられた一年だったと思います。この経験を糧にして、これからの進路決定に結びつけてもらいたいと思います。

足利大学教授陣による探究テーマ指導

◆12月5日に足利大学の5名の先生が来校し、生徒の個人研究への指導助言をしてくださいました。9 月の「Kei プロ Day」で指導いただいた内容についての進捗状況の確認と今後の方向性についてご教授いただきました。各分野 10 名前後の生徒の中間発表について、的確にアドバイスをしてくださったり、生徒と対話しながらともに考えてくださったりと大学の先生方の探究に対する熱量に驚かされました。本校職員も先生方に見習って生徒の探究活動にアプローチしていきたいと思いました。お忙しい中、本校生のためにご対応いただき誠にありがとうございました。

「Kei プロジェクト発表会：じぶん探究」

◆2月13日（金）に1学年の「Kei プロジェクト学年発表会」を行いました。2学期から探究する意義の実感と自己理解を深めるために自分の「気になる」や「好き」を言語化する“じぶん探究”に取り組みました。1月にはクラス内で全員が発表し、本日の学年発表会では各クラスから選出された代表者が一堂に会し、体育館でブース形式のポスターセッションを行いました。聞き手の生徒も同級生の優れた発表に耳を傾け、発表後には質問するなど積極的に活動していました。また、先生方だけでなく、2年生も聞き手として参加したことで、適度な緊張感の中での発表となりました。発表内容は自分にとって身近な課題であったり、好きなものであったりと設定したリサーチクエスチョンも率直であり、自分をしっかりと見つめた様子が見て取れました。また「好き」という観点から真逆の「嫌い・苦手」という方面からのアプローチで自分を捉え・語るなどの工夫も見られました。来年は2年生として学問分野別のゼミ探究が始まります。この経験を生かしてよりよい探究活動になることを期待します。

終わりに◆今年度も本プロジェクトに御協力いただきました大学・企業・行政の皆様、保護者の皆様に感謝申し上げます。また、三菱みらい育成財団の助成により、人と人のつながりをさらに深めることができました。生徒一人一人が、輝かしい未来を啓く（ひらく）ことを願いながら今後も取り組んでいきます。次年度もひきつづきの御支援をよろしくお願いいたします。